

KGAニュース GKA



目次

理事長あいさつ	1
関東ゴルフ連盟 理事長細川護貞	
ジュニア教室について	2
ジュニア委員会・委員長 松野京三	
第8回関東グランド・シニア・ゴルフ選手権	4
競技スケジュール	6
ルールQ&A	8
理事会・総会	11
競技実施要項	17
月例競技成績表	19
(昭和57年度10月～昭和58年度2月)	

No.2

ごあいさつ

関東ゴルフ連盟
理事長 細川護貞



この度、関東ゴルフ連盟の総会に於いて、今連盟の理事長に推举されました。私の任務は極めて重大であると考えて居ります。

それは今日の日本のゴルフの評判が世界的に悪いからであります。先ザイギリストの一新聞は、

「ゴルフを悪くしたのはアメリカ人だが、ゴルフを最悪(Worst)にしたのは日本人だ」と記したことでもわかると思います。

この記事は日本人がエコノミック・アニマルの異名をつけられた当時、ロンドン近郊のゴルフ俱楽部から、日本大使館に対し、

「日本のゴルファーはコースでもクラブハウスでもエティケットやマナーズをまもらないから、以後は日本人のプレーを断る」

と通告してきた際、これを報道するロンドンの一新聞にのった言葉です。

ところが、これと符節を合せるように、わが国のゴルフクラブの人達も、この事を憂えていることがわかりました。

日本ゴルフ協会が昨年暮に調査した
「J・G・Aゴルフの現状と未来」パート1「加盟ゴルフクラブの意向と実態」

によりますと全ゴルフクラブの6割が「来場するプレ

ヤーの質が落ちている」ことを悩みごととしてあげています。

どうしてこのような現象が出て来たのでしょうか。私の推察するところではゴルフの急激な普及の為にゴルファーに対するエチケットやマナーズを教えることが出来なかったからではないかと思います。

強いていえば、それはゴルファーの先輩達の責任かも知れませんが、学ぶ側にも多少の問題点はあったでしょう。兎もあれ、わが連盟やゴルフ協会は勿論のこと、所謂

「ゴルフのスピリット(精神)」
を持ったゴルファーは後進を指導すべきだと思います。
「ゴルフで大切なことは勝敗よりも、いかにプレーされたかということだ」とジョン・ロウはいました。

また、「よい勝者であるとともに、よい敗者であれ」とスコットランドの格言は言っています。

このような「ゴルフの精神」をお互いに培うことが、わが国ゴルファーを世界のゴルファーと肩を並べるようにする途だと思います。

私は稚多なことを考えるより、この1つの途に先ず全力を擧げて取り組みたいと思っています。

どうか皆様の御力添えを期待いたして居ります。

競技

ジュニア教室について

ジュニア委員会
委員長松野京三



関東ゴルフ連盟でジュニア・ゴルファーの育成指導のために、ジュニア教室を開催して居ます。第一回は鳥山城カントリークラブ、第二回、第三回は何れもセントラルゴルフクラブで開催させて頂いた。開催の時期は、冬休、春休と学校の休暇中を利用して居ります。

第三回は運営の都合で120名を募集したところ、応募者が大幅に増え急遽150名に計画を変更して実施しました。それでも尚数十名をお断りした様な次第です。

教科の内容ですが、我々も初めてのことでもあります当初どのように教育するか、種々委員会で検討を重ねた結果、一応第一回は実技と、ゴルフの基本となるエチケット、マナー及びルール等を、半々位の教科内容で進めて見ました。実際にやって見ますと、子供達はやはり実技の方にのみ大きな関心を示し、学科の方になりますと居眠りするものも見受けられてあまり熱が入りません。

その様な傾向に対応して第二回目からは、練習所ではプロによるウッド、アイアン、アプローチと言う様に各部門に分けてレッスンを実施し、ラウンドをしながら指



導員が出来るだけ各組に一人宛付いて、エチケット、マナー、ルール等をその都度実地に教育する方法を探りました。この方法が効果が挙る様な気がします。夜は6時半頃よりルールの内で最も重要な用語の解説に重点を置き、約30分位講義し、引続いてNHKのルールの解説のフィルム、N.G.Fの「ゴルフを楽しむ」のフィルム、また各種オープン競技の映画を見せて2時間位の予定で9時頃に夜の部が終了する様にして居ますが、この方法が子供達には受け付ける様に思われます。また、このジュニア教室は二泊三日の間は団体生活をするので、その間は食事、その他の日常生活にも充分気を配り、人間関係、社会人としての行儀、作法等にも併せて喧々しく指導して居ります。参加者の中には毎回参加して居る子供達も相当居る関係もありますが、第一回に比して第二回、第三回と回を重ねる毎に、子供達の受講態度が非常に良くなっています。教育の効果が徐々に現れて来たと思います。

一般教室に参加した子供の父親から「子供がジュニア教室に参加して以来、家庭内の生活についても非常に行儀がよくなり、人間として大きく成長した。子供達の非行防止のためにもこの様な活動を今後共続けて欲しい」という礼状や連絡が連盟に届いて居ります。

しかしジュニア教室を効果的に実施するためには、幾つかの条件が揃わなければなりません。先ず第一に開催するクラブの理解と協力と、それに対応できるだけの設備を持って居るクラブでなければなりません。150名の参加者、運営にも当る委員、プロの方々となると少なくとも180名位の宿泊設備、一度に全員で朝食が可能な準備、また練習所も広大な設備がないと150名のレッスンは出来ません。それに子供達の交通の点も考えねばなりません。その様な関係で第二回、第三回をセントラルゴルフクラ

ブに、ご無理をお願いして開催した訳です。

何しろ中学・高校生の育ち盛りですから、食事も何杯もお代りする連中も居り、食事の時は大変です。余談ですが当クラブの西野理事長より名物の紅白の饅頭を二個宛夜食に頂き皆大喜びでした。

プロの方は毎回西田升平プロが主体になり、学年若いプロ5、6人を集めて担当して頂いて居ります。子供達と共に朝6時に起床、体操、ランニングをやり、朝食を終えて、150名を何班かに分けて順序よく交替に、レッスン、ラウンド等、夜の9時までスケジュールが一杯で、その間、熱心に取組んでくれて居ります。

これらのプロの方々に対しては交通費として若干差上げるだけで、全くのボランティアとして協力して頂いており、深く感謝して居ります。

またその間、羽川プロ、松井プロ、樋口プロが忙しい間を都合して、特別参加してくれ、子供達は直接手を取ってレッスンを受け大感激して居ました。

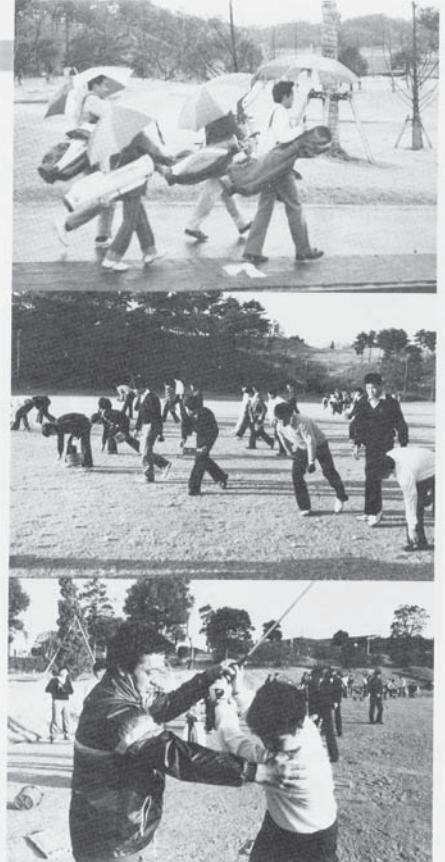
指導員としては、阪田哲男、内藤正幸両君等を始めジュニア委員は勿論であります、ボランティア活動として、月例研修部員、並びに学連の上位者の方が参加して、指導に協力して貰って居ります。

以上の様な各方面からの援助があってこそ、このゴルフ教室が有効に行われる訳であります。

また、このジュニア教室が非常に子供達、並びに父兄の方に人気があるのは、参加費が二泊三日で、1万8千円と実に安いと言ふことでしょう。しかし、この参加費だけでは運営は出来ません。関東ゴルフ連盟は、ジュニア育成費の予算の中から開催コースに対し、三日間で、210万円の補助と、その他に運営費を負担して実施して居るからです。

今まで三回教室を開催しましたが、その都度一時的に雨が降り、プレーが無理かと思われた時でも、子供達は平気で何とか中断しないで、ラウンドを続けさせて欲しいと言う希望が強く、その熱心さに驚いて居ります。これは彼等が如何に平素のラウンドに飢えて居るかと言うことの現われだと思います。普段は練習所でばかり球を打つて居るので、コースに出る機会が少ないのでないでしょうか。コースに出れば、非常に高いピジタース・フィーを払わねばなりませんので、親御さんの負担も大きく、年に数回しかラウンドする機会がないのでしょうか。子供達は兎も角コースでラウンド練習がしたいのです。

この様にジュニア教室は各方面からの理解と協力とが相俟って、初めて成果が挙がるものと思います。



ジュニアの育成と言う仕事は、簡単なものではありません。時間をかけて、欧米諸国様に、ゴルフ界は勿論各方面の理解を深める運動をしなければなりません。彼等に出来るだけ安く、安易にゴルフを楽しむことが出来る様にしてやらなければなりません。ジュニア・ゴルファーに対する娛樂施設利用税の免除等、むずかしい政治的な問題もありますが、手のつけ易い事柄から始めて行くべきでしょう。彼等が最も切望して居るコースでの練習を、一度でも多く機会を与えるためには、連盟加盟クラブが、特別に安いジュニア料金を設定して、一日に二組位を受入れてプレーさせてやることが出来ないものでしょうか。

このジュニア育成の問題は日本だけでなく、世界のゴルフ界の大きな課題となって居ります。今やゴルフが一大国民的スポーツとして発展して来た今日、日本ゴルフ協会を始めゴルフ界全体が、この課題に取り組んで行かねばならない時が来たと思います。

競技

第8回関東グランド・シニア・ゴルフ選手権競技

●期日 11月4日木～5日金 ●コース 霞ヶ関カンツリー倶楽部西コース(5491m、パー71) ●参加者 63名



グランド・シニア選手権となると、ひょっとすると誰かがエージェントを達成するのではないか……との期待が盛り上って来る。1ラウンドのスコアを自分の年令以下でまとめるとは、アマチュアでは70才以下の人に期待することはまず無理なこと、74～75才を過ぎたあたりから大きな可能性が生まれてくる。しかし、それまで体力の衰えをカバーし、技量を維持することは至難の技であろう。それだけにエージェントは尊重される。

日本でも最近になってエージェント達成のニュースがチラホラ聞かれるようになったが、アマチュアの公式戦でなし遂げた人はまだ一人もいなかった。

ところが、この大会では初日からエージェントが飛び出した。達成したのは明治35年1月8日生れで満80才の川本須恵男(大利根)である。既にプライベートでは45回もエージェントを達成しているという川本は、秘かに公式戦での初エージェントを狙っていた。この意気込みが力みとなり、スタートの10番ホールをダブル・ボギーの6とつまづいたが、その後はすぐ立直ってボギーを出したのは13番と17番の2ホールだけ、インを40と快調なペース。残りのアウトを40でまとめればエージェント達成となるが、川本は相変らず好調なアプローチとバットで大きくずれを見せせず、アウトを4ボギーにおいて39、合計79ストロークと1ストロークの余裕を残してエージェントを達成したのである。

惜しかったのは明治33年11月3日生れで満82才、既に31回のエージェントの実績を持つ倉重清久(霞ヶ関)である。12オーバー・バーの83ストロークにまとめたが、日本式の数え年なら達成になるが、満年令しかない英米の規準には1ストローク及ばなかった。

しかし、最終日はその倉重が頑張った。この日は朝から小雨模様のお年寄りには厳しいコンディションだったが、エージェントに執念を燃やす倉重は4番ショート・ホールでバーディーを奪い、他は4ボギーに押さえてアウトを3オーバーの38、やや余裕を持ったインではさすがの倉重も2日目の疲れと、エージェントを意識したこともあるてか、ショットがやや乱れ勝ちとなり、10番をダブル・ボギー、11番ボギーと危なっかしくなったものの、その後を手堅くまとめて43、合計81ストロークでこれも年令より1ストローク少ない余裕のエージェントを達成だった。

競技の方は前年度のこの大会で5位に甘んじた倉野四郎(大利根)が1日目から一向に衰えを見せない長打力を發揮して快調に飛ばした。出だしの2番261mのミドル・ホールは軽く2オンしてバーディー、続く長いミドルの4番でダブル・ボギーとつまづいたものの、その後は6番のボギー1つに押さえ、アウトを2オーバー・バーの37、インでは3ボギーを出してしまったが、13番と17番でうまいバットを決めて2バーディーをものにし、1オーバーの37、合計3オーバー74の好スコアで早くもトップに立った。2位は小兵ながら自分の背丈ほどもありそうな物干竿ドライバーで長打をカッ飛び平野善次郎(我



グランド・シニア唯一の長打力を発揮して優勝した倉野四郎

孫)が3ストローク差の77、3位にはエージェントの79を出した川本が上って来た。

最終日は小雨にけむる悪コンディションの中、このトップ・グループのせり合いが注目されたが、かんじんの平野が氣負い過ぎてか3番でミス・ショット、ダブル・スコアの8を叩いてくれず、また3位だった川本も前日のエージェントの疲れからか、この日はダブル・ボギーを連発させてアウト46の大荒れで後退、僅かに前日80ストロークで4位だった綾井芳一(小田原湯本)がアウトを1バーディー、4ボギーの38にまとめて2位に躍進して来たが、倉野も手堅く4ボギーだけの39にまとめ、2位との差は5ストロークと聞いて、ほぼ逃げ切りの体勢を固めてしまった。

最後のハーフはさすがに70才以上のグランド・シニアのこと、2日連戦の疲れが出ていた倉野はやや荒れ気味となって13番と18番でダブル・ボギー、その他にも4ボギーを叩いて44ともたついたものの、追走する綾井も13番ロング・ホールでのダブル・ボギーがたたって追い切れず41に止まり、倉野が2ストローク差の通算157ストロークで初優勝を獲得した。



公式戦初のエージェントを達成した倉野清久(左)、川本須恵男(右)

またアウトで一度は優勝争いから脱落した平野は最後のインで見事な直りを見せ、3オーバー・バー39を出して急追、通算159ストロークで綾井とともに2位に並んだ。4位は161ストロークで坂川好太郎(富士)、5位は、162ストロークで坂本平一郎(武蔵)が入賞した。

なお、この大会で公式戦初のエージェントを達成した川本、倉重の両氏に関東ゴルフ連盟より記念品が贈られることになった。

昭和57年度関東グランド・シニア・ゴルフ選手権成績表

於：霞ヶ関カンツリー倶楽部(西コース) 参加者63名 11月4日・5日

順位	氏名	クラブ	第1ラウンド		第2ラウンド		合計	順位	氏名	クラブ	第1ラウンド		第2ラウンド		合計
			アウト	イン	イン	計					アウト	イン	イン	計	
1	倉野 四郎	大利根	37	37	74	93	157	32	高広 幸	霞ヶ関	44	43	87	41	166
2	綾井 芳一	小田原湯本	39	41	80	79	159	32	林 喬	ケ丘	41	44	85	44	174
2	平野善次郎	我孫子	39	38	77	43	159	32	眞崎 英夫	GMG E王子	43	44	87	43	174
4	坂川好太郎	富士	43	38	81	41	161	36	聞定 廉	大洗	47	40	87	44	175
5	坂本平一郎	藏	42	42	84	38	172	36	竹田 順親	伊香保	41	47	88	45	175
6	内田邦彦	日高	44	40	84	40	164	38	浅井 伸	ケ浦	43	43	86	41	176
6	倉重 清久	霞ヶ関	41	42	83	43	164	38	片桐 三郎	伊香保	48	43	91	42	176
6	平 春弘	我孫子	38	44	82	38	164	38	佐武 太市	日市	44	47	91	40	176
9	池水 博	戸塚	45	40	85	41	165	38	千田 算命	千葉	44	42	86	42	176
9	山縣昇輔	宍戸国際	39	46	85	39	165	42	本間 雄一	慈心	50	43	93	40	177
11	大内田栄策	日本	40	43	83	38	166	42	湯浅 正経	武	45	46	91	45	177
11	安武秀次	横	42	38	80	42	166	44	荒井 賢宗	相模	46	41	87	48	179
13	大浜洋之助	湯河原	41	42	83	38	167	44	田代 正蔵	相馬	46	43	89	44	179
13	白石 錦	多摩	40	43	83	41	167	46	寺西 博	大利根	43	44	87	45	180
13	鈴木兵吉	千葉	43	43	82	42	167	46	山下 一作	ケ崎	45	45	90	44	180
16	小林行治	相模	40	42	82	41	168	48	中村 寿一	鬼怒川	45	49	94	41	181
17	川本須恵男	大利根	39	40	79	46	169	48	渡辺洋三	袖ヶ浦	47	47	94	42	181
17	松富富士	嵐山	40	45	85	43	170	48	福田 勝市	華嚴	40	45	85	44	181
19	小川保人	相模原	43	41	84	45	170	51	山崎支年生	宍戸国際	44	45	89	41	184
19	国本基寿	相模原	41	46	87	42	170	51	金子忠雄	霞ヶ関	42	50	92	46	185
19	松浦茂秋	小田原湯本	46	44	90	37	170	52	佐藤孝太郎	鶴巣	48	45	93	45	185
19	宮本俊雄	桜ヶ丘	44	41	85	44	170	52	菅原勝三郎	鶴舞	50	43	93	45	185
23	岡田操	霞ヶ崎	40	46	86	43	171	52	中津幸雄	GMG E王子	47	50	97	46	185
23	多田清	岡部サン	40	45	85	43	171	52	森山鉄雄	愛媛600	45	47	92	44	185
23	浜洋治	相模	39	45	84	44	171	52	山地一寿	嵐山	47	49	96	44	185
23	山口澄	秩父山	44	41	85	39	171	58	鈴木太郎	相模	45	45	90	49	186
27	井上勇徳	霞ヶ関	38	44	82	46	172	58	吉田利夫	鷹之台	45	47	92	46	186
28	荒井春	長嶺	42	49	91	40	173	60	牧原義壽一	相模	48	46	94	46	188
28	藤田尚文	桜ヶ丘	41	44	85	42	173	61	石井喜一	の宮	46	45	91	52	190
28	龜本哲	東京国際	46	40	86	44	173	62	大武実	鴻巣	52	49	101	47	192
28	鈴木一郎	千葉	41	46	87	43	173	63	西川誠志	武蔵	45	50	95	45	193
32	石城誠一	武蔵	41	45	85	44	174								業種

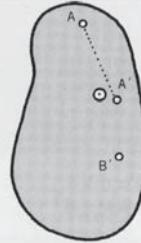
競技スケジュール

昭和58年度競技スケジュール表

月	日	曜	競技名	競技場	競	
					方	法
5	9	月	関東アマ予選 第1ブロック	多 平 江 岡 南	摩 見 崎 チ 南	18S 18S 18S 18S 18S
	9	月	第2ブロック		富 士 戸 チ サ	18S 18S 18S 18S 18S
	9	月	第3ブロック		見 崎 チ サ ン	18S 18S 18S 18S 18S
	10	火	第4ブロック		總	18S
	11	水				
5	16	月	関東女子予選 第1ブロック	中 津 柏	川	18S
	16	月	第2ブロック			18S
5	26	木	関東アマ決勝	茨 (東)	城	18S
	27	金				18S
	28	土				18S
	29	日				18S
6	1	水	関東女子決勝	那	須	18S
	2	木				18S
6	6	月	俱楽部対抗予選 東京地区 埼玉地区 千葉地区 群馬地区 長野地区 静岡地区 神奈川地区 茨城地区 栃木地区 新潟地区	桜 ヶ 松 鶴 上 毛 林 月 愛 霞 鹿 大	丘 山 舞 林 月 鷹 本 台 湯 田 原 湯 新	* 18S 18S 18S 18S 18S 18S 18S 18S 18S 18S
	13	月				
	13	月				
	13	月				
	13	月				
	13	月				
	13	月				
	13	月				
	14	火				
	14	火				
	1	金				
7	4	月	俱楽部対抗決勝	霞	ヶ	関
7	25	月	関東ジュニア予選	ノーザン・錦ヶ原	18S 18S 18S	各ブロック予選通過チーム 高校男子 18歳未満 女子 18歳未満
7	26	火				
7	27	水				
8	3	水	関東ジュニア決勝	相 模 原	高校男子 18S 36S 中学男子 18S 女子 18S	予選通過者 KGA特別承認者 前年度男子 5位までの者 中学、女子は優勝者のみ
	4	木				
8	26	金	関東シニア予選 第1ブロック 第2ブロック	横 浜 (東) (空港)	18S 18S	満60歳以上 JGA Hdcp16まで
	26	金				
9	1	木	関東オープン	穗 志 野	高	18S 18S 18S 18S
	2	金				
	3	土				
	4	日				
9	20	火	関東シニア決勝	藤	ヶ	谷
	21	水				
10	26	水	関東グランド・シニア	小 金 井	18S	数え年70歳以上 JGA Hdcp22まで

競技			
資 格	予選通過基準	授 賞 範 囲	参 加 料
KGA後援 県アマ5位 (千葉、茨城、群馬、 静岡、神奈川、埼玉) KGA後援 県オープン5位 (千葉、群馬、長野、 (新潟、神奈川、茨城)	各ブロック20位まで	メダリスト 全員記念品	予選決勝を通じ 20,000円
関東学連推薦若干名 KGA特別承認者	各ブロック60位まで	メダリスト 全員記念品	20,000円
前年度関東ジュニア1位 前年度東日本パブリックアマ1位 (関東在住) 前年度世界アマ日本代表(関東在住)	前半36S 成績90位まで が後半に進出	1～5位 全員予選通過賞として 記念品	シード選手のみ 20,000円
月例総合成績10位 前年度世界アマ代表(関東在住者)	全員2日間プレー	1～5位 全員記念品	シード選手のみ 20,000円
開催クラブチーム	クラブ対抗特別ルール による規定適用	各ブロック予選 優勝チーム 個人メダリスト 全員参加記念品	予選決勝を通じ 150,000円
中学男子 15歳未満 (但し、4月1日現在とする)	高校男子150人 中学男子20位 女子12位	メダリスト	予選決勝を通じ 5,000円
未実施	高校男子前半18Sで60 位までが後半進出	高校男子1～5位 中学男子・女子1～3位 全員予選通過記念品	
未実施クラブは年間ベスト10 スコアで14まで	各ブロック60位まで	全員記念品	20,000円
プロ 関東オープン前年度15位まで 関東プロ協会選考85名 別にKGA特別承認者	前半36S 60位(含むアマ) アマのみ5位	プロ 賞金2,000万円 アマ 1～3位 アマ 入選記念品 プロ・アマNHK杯	加 盟20,000円 加盟外25,000円
前年度関東シニア10位まで	全員2日間プレー	1～5位 全員記念品	シード選手のみ 20,000円
未実施クラブは年間ベスト10 スコアで20まで		1～5位 全員記念品	15,000円

Q 旗の位置Pに対し、プレーヤーAの第1バットがA'に止まりAがA'の球をマークする過程で胸の銀貨が落ちてA'の球を動かしました。同伴競技者BはマークしたB'の球をリプレイする状況にあってこのことには気がつきませんでした。競技終了後、Aより球が動いた旨の申告がありましたがルール上、どうなるのでしょうか。



A 規則35条3aに記されている「本規則に従って行動中に誤って球を動かしても罰ではなく、動いた球はリプレイしなければならない。」は、規則24条、規則35条2aおよび規則35条3aに該当するものであって、プレーの妨げになる球に関しての行動中を指している。一方、規則35条1dおよび規則35条3bにてはグリーン上の球を罰なしに拾い上げることを許しているが、この行動中に誤って球が動かされた場合についてはU.S.G.A裁定75-1(規則27条1d)、同60-44(規則27条1d)および同63-1(規則35条1d)等より判断すると、球をマークする行動中にボール・マーカーとして使用すべき物体によって誤って球が動かされた場合は規則35条1dにより罰を課せず、その他の物体によって間接的に球が動かされた場合は規則27条1dを適用することが妥当と思われる。

従って、質問の状況においては、プレーヤーAの胸ポケットのコイン(予備のものと思われる)がマークする以前の段階において落ちたものか、マークしたときに落ちたものかによって裁判は異なるであろう。もし、マークする以前の出来事であったならば規則27条1dを適用し、1打付加しなければならない。

また、規則35条3aに基いた行動中に誤って球が動かされた場合の内には間接的に動かされた場合も含まれるので、もしAが球の拾い上げを要求されていたならば、いずれにしても罰の対象とはならなかった。

Q クラブ競技会開催に伴う天候不良の事由による競技日程の順延(変更)について、競技委員会の権限の範囲についてお伺いいたします。

昭和57年度競技日程のうち、俱楽部選手権競技会の開催

については、5月30日の予選は終了し、1st、2ndともそれぞれ16名ずつが選抜され、6月3日に1・2回戦を開催する予定でいましたところ前夜以来の降雨と霧の発生により1・2回戦以降の日程を順延と決定し、当日の参加者に通達しました。ところが、当日の参加者の一部ならびに他の会員よりすでに決定された競技日の変更は、他クラブにおいては前例もないことからおかしいのではないかとの意見が出来、現在では結論に致っておりません。競技日の短縮案については、競技方法が36ホールズによるマッチプレーと決められていますので不可能です。このような場合、いかなる条件下でも強行すべきか、あるいはその時点で情況判断で裁定を行ってよいものかどうかご教示ください。

A 競技の行われる当日、コースが規則36条4c(プレー不能のコース)にて述べられているような状態であったならば、当日は競技を取り止め日程を変更することについては競技委員会に権限がある。従って、質問の状況においては競技委員会の決定は当を得たものと思われる。

既に決定された競技日程は天候が順調であることを前提としたものであって、天候またはコースの状態によって競技日程あるいはラウンド数の変更されることは珍しくない。

また、当日コースは開場されたとの事であるが、それは俱楽部側の事情によるものと思われ、競技委員会の判断による競技の中止とは別個の問題である。

Q 当クラブは全ホールにモノレールシステムを採用し、近々運行開始の運びとなりました。このレール敷設についてはコース美観の維持、及び排水兼用の便等を勘案して、全コースの約7割はU字溝の中に



一ルを敷き、残り3割は露出した地上に敷いてあります。この場合当然球がU字溝の中または露出レールの附近に止ってプレーヤーのスタンスまたは意図するスイングの妨げになることがあります。

これを規則第31条に定める動かせない障害物として救済の処置をしたいと考えますが、当ゴルフ場の場合(a)ホールに近づかず(b)障害を避け(c)ハザード内及びグリーン上でなく、球のあった個所から最も近い地点に決定することが不可能の区域が数多くあります。

レール及びレール敷設のためのU字溝をすべて通路とみなせば(現実にカート通路である)、第31条(註)により、障害物の上、中、下を通して地点を決定することができる所以問題はすべて解決するのですが、この解釈は如何でありますかお伺い致します。

もしこの解釈が不合法であるとすれば、ローカル・ルールその他によってどのように救済すべきかご教示願いたいと存じます。

A (1)U字溝内に敷設したモノレールは、写真で見る限り地表より突き出ておらず、プレーの妨げとなる場合は規則31条2bに基く处置が充分可能であり危険もなく、特にローカル・ルールを制定して救済を与える必要はないように思われる。

(2)露出して地上に敷設したモノレールも動かせない障害物であるので、プレーの妨げとなつても規則第31条2bに基いた救済処置をとらなければならない。しかし乍ら地形上、正規の処置が困難であったり危険を伴うおそれがあるならば、特殊の状態に応じる特別規則を制定することも止むを得ないと考える。

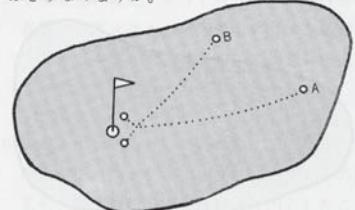
(3)(1)、(2)を併用することが理想的であるが、混乱を招くおそれがあるならば(1)に対しては過剰救済の弊を伴つて好ましくないが、下例のような特別規則も一案である。例。モノレール(U字溝を含む)がスタンスまたは意図するスイングの妨げとなるときは、モノレールの希望する側にて障害を避け、球の前位置から最も近く、かつホールに近づかない個所に罰なしにドロップすることができる。

注。規則31条2bの処置をするに当たり、(a)ホールに近づかず、(b)障害物からの障害を避け、球のあった個所から最も近い地点を決定しなければならないが、この地点を決定するに当たり障害物の上を越えて測ったとしても、球のあった個所から最も近い地点が得られるとは限らない。質問の主旨は、この地点を障

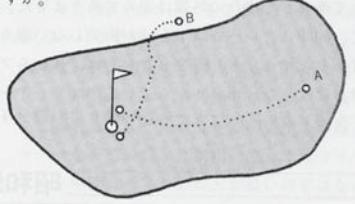
害物の反対側で得ようと思われる。従って、モノレール(排水溝を含む)を通路として扱うと希望するような救済を得られない場合があるので、上記特別規則例の如く通路扱いという表現をしない方が好ましい。

Q 同時にプレーした球が当たった場合、
①グリーン上でホールより遠いAがパットをしたところ、それに気付かなかったBも同時にパットをしてしまい、その両者の球がホールの近くで当つてしましました。

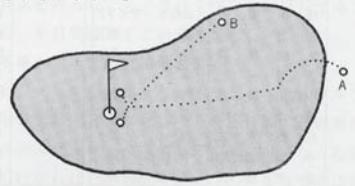
この場合の処理はどうすべきでしょうか。またペナルティはどうなりますか。



②①の質問と同じケースですが、Aよりホールから近いBの球がグリーン外にあり、このアプローチした球が、Aのパットして転がっている球に当たった場合は、どうなりますか。

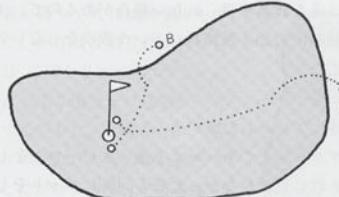


③②の質問と同じケースですが、ホールから遠いAの球がグリーン外にあり、近いBの球がグリーン上にある場合、Aのアプローチした球とBのパットした球が当たった時はどうなりますか。

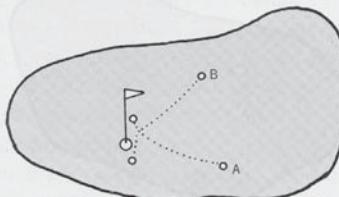


ルールQ&A

④同じケースでも遠いAも近いBもともにグリーン外にあり、同時にプレーして球が当ったときはどうなりますか。



⑤グリーン上でAもBもホールからほど同じような距離にあった、同時にプレーした球が当った時、どちらが遠いかの判定がつけにくいときの処理はいかが。



以上はストローク・プレー中の出来事として回答下さい。

A ゴルフのゲームはホールから遠い球を先にプレーするよう定めてますので、二つの球が同時にプレーされて衝突した場合の処置は定めてありません。従って、同時にプレーされても球が衝突しない限り誰にも罰はありません。もし衝突したならば、後からプレーしなければならないホールから近い方のプレーヤーはホールから遠い方のプレーヤーの球の動きに影響を与えた

昭和58年度役員名簿

理事長	細川 謙 貞 (東京)	常務理事	大 横 光 雄 (都留)	理事	西 野 謙 介 (愛媛)
副理事長	鈴木 太郎 (相模)	青 藤 文志郎 (フォレスト)	佐久目 晋 三 (長岡)	監 事	西 野 謙 介 (愛媛)
常務理事	武 内 俊 三 (武藏)	佐 藤 和三郎 (宇都宮)	間 本 照 文 (朝霞シャンボリー)		
相 山 武 夫 (横浜)	青 木 昌 尚 (穂高)	高 田 市太郎 (相模原)			
藤 原 正 男 (諏訪湖)	洪 口 五 郎 (程ヶ谷)	竹 井 博 友 (那須チサン)			
福 田 彰 (ルーデンス)	相 山 審 宽 (廣之台)	滝 沢 武 (都賀)			
福 田 富 市 (浜松シーサイド)	金 丸 寛 夫 (取手新日本)	山 崎 支 年 生 (宍戸国際)			
古 賀 始 (茨城)	勝 又 豊次郎 (袖ヶ浦)	吉 沢 兵 左 (唐沢)			
木 村 襄 司 (東名)	勝 山 恵 三 (関越ハイランド)	内 田 順 夫 (加茂)			
古 茶 一 之 (草津)	北 村 順 则 (サンクロス)	渡 辺 実 (相模)			
小 富 山 義 孝 (總武)	小 林 金 太 郎 (小田原湯本)	岩 本 勇 (那須)			
松 浦 均 (習志野)	小 林 甲 子 郎 (桜ヶ丘)	三 鳩 栄 荘 (川崎国際)			
松 野 京 三 (扶桑)	宮 本 勇 (矢板)	坂 信 弥 (姫ヶ崎)			
中 川 岩 太 郎 (小金井)	村 田 豊 雄 (竜ヶ崎)				
長 沢 泰 治 (関東国際)	森 井 誠 治 (飯能)				

理事会・総会

剩余金の半額、7,350,000円を差し上げたいと提案、全員異議なく賛成可決した。

②コース謝礼金の件

連盟主催競技の開催コース謝礼金改定については、前回の常務理事会で検討を競技委員会に一任されたが、競技委員会では平日の場合は1日について110万円、土、日曜については1日160万円とすることを決めた旨報告、これで土、日を含む4日間の関東アマチュア選手権決勝競技の場合の謝礼金は合計540万円となること、但し関東オープンに関しては4日間で550万円にすることを説明、全員異議なくこれを了承した。

③競技実施内容について

(1)参加資格の変更

JGAハンディキャップ所持者のワクを広げて優遇するとともに、未実施クラブの場合は過去1年間のベスト・スコア10枚の提出を必要とし、しかも1~2ストローク資格を厳しくしたこと。

(2)関東グランプリニア選手権

開催を1日18ホール・ストローク・プレーの競技に変更、参加料については15,000円としたこと。

(3)関東シニア選手権予選競技の新設

本年度の関東シニア選手権は234名と参加者が増大したため、明年度より予選を実施したいと提案、開催クラブには常務理事クラブの習志野空港コース、及び横浜、東コースを依頼、いずれも快諾を得た。

(4)KGAマーク登録の件

関東オープン選手権を開催するに当たり、開催クラブよりKGAマーク入りの帽子やシャツを販売したいとの希望も寄せられているので、この際、KGAマークを商標登録し、使用に際してはロイヤリティを明確にしておいた方が良いのではないかと提案、早速登録の手続きをとることを決めた。

3. KGAニュース創刊号の件

武内広報委員長が所用で欠席されたため、事務局よりKGAニュースの創刊号が出来上り、各クラブに50冊ずつ発送を終ったこと、及び今後年4回発行することを報告、全員異議なくこれを了承した。

4. 冬季ジュニア教室開催の件

松野ジュニア委員長より、冬季ジュニア・ゴルフ教室を明年1月4日から6日までの三日間、茨城県のセントラル・ゴルフクラブで開催することになった旨、報告が行なわれた。募集人員は120名、参加費用は3日間

理事会・総会

の食費、宿泊費、プレー料を含めて18,000円、連盟より1人当たり5,000円の補助をお願いしたいと提案、全員異議なくこれを承認した。

5. ゴルフ場借地料セミナーの件

福田富市税対策委員長より、最近借地を持つゴルフ場で大きな問題となって来ている借地料について日本ゴルフ場事業協会との共催で、11月22日午後1時半より港区虎ノ門の葵会館でセミナーを開催することを報告、了承を得た。

6. 第6回グリーン研究講習会の件

木村グリーン委員長より、第6回のグリーン研究講習会を11月24日午後1時より、港区虎ノ門の農林年金会

館で開催することを報告、出来るだけ常務理事の方々の出席をたまわりたいと要望した。

7. 新規入会申請クラブの件

下記4クラブの加盟を承認、これで連盟加盟クラブ総数は331クラブとなった。

上毛高原カントリー倶楽部

館山カントリークラブ

千代田カントリークラブ

伊豆にらやまカントリークラブ

次回理事会

昭和58年1月18日㈫ 臨時総会終了後、於JGA会議室
以上

加盟倶楽部殿

昭和57年12月17日

関東ゴルフ連盟

理事長 高田市太郎

57年度緊急常務理事会議事録

57年度緊急常務理事会討議事項を下記の通りお知らせします。

日 時 昭和57年12月17日㈮正午

場 所 JGA会議室

出席者 高田理事長、西野、中川、細川各副理事長、相山、天野、藤原、福田彰、福田富市、金丸、河西、勝又、勝山、木村、古賀、古茶、小宮山、松浦、松野、村田、長沢、斎藤、鈴木、関本、武内、田村、横内各常務理事

決 議 事 項

1. 次期KGA理事長の件

高田理事長より、ことしの2月16日のKGA総会で前理事長の亡くなられた後、残存任期の理事長として就任したが、就任あいさつの時も残存期間のみと明言していることでもあり、この2月の総会で退任したい。ついては次期理事会及び次期理事長をどうしたら良いか、皆さんの活発なご意見をうかがいたいと発言があった。これに対して各常務理事より残存期間というはその時の便宜として使われただけのこと、今期だけと決めたわけではないこと、長いマスコミ人としてゴルフの真髄を知っている方であり、これにかかる適当な人がいること、ゴルフ界の中心に位置するKGAが理事問題でぐらついている印象を与えることがまずいこと、処理すべき問題は山積していること、等の理由をあげ、今すぐに今後の具体的な方策があるわけではないのだから、次の体勢を作るまではもう一期留任して

いただきたいと要望した。

高田理事長はなんといても高齢でこの一月には数え年で86歳になることでもあり、ここから解放していただきたいと就任時に表明した意志に変りがないことを説明。私の良心も許さないので、このことを含めて今後の対策をご審議願いたいと再度辞退の意志を強調されたが、各常務理事は理事長の気持はわかるが、大切な時期でもあり、いろいろなことが落着くまで、もう一度理事長をお引受けいただきたいと翻意を願う意見が強く、結局1月の常務理事会で再度審議することを決めた。

2. KGA規約改正の件

規約改正小委員会作成の改正案と旧規約の対比表にもとづき、事務局より改正の要点の説明があり、第13条に新設された会長の職務権限について第17条では“会長は本連盟を総理し”とあり、“理事長は本連盟を代表し”となっているが、總理と代表との違いについて明快にしておく必要があるとの提案で討議、結局、会長は象徴的な意味の“総理し”であることを確認した。

3. JGA会則変更案の件

高田理事長より12月9日に開かれたJGA理事会に提出されたJGA会則変更案について説明があり、JGA理事会では承認され、最終的には1月に開かれる臨時総会で決定される旨、報告、この変更案の討議を提案したが、関東を代表する理事7名が出席したJGA理事会で承認したものを、KGAで改めて討議するのは穩当ではないのではないかとの意見が出たため、KGAを代表しているJGA理事だけで再検討することを決めた。

4. その他

①新規加盟クラブ承認の件

理事会・総会

公式戦初のエージュートを達成されたため、KGAとしては記念品を贈りたいと提案、全員異議なくこれを承認した。

②記念品用ネクタイの件

事務局より、以前に製作してあった記念品用ネクタイの在庫が少なくなったため、新たに4種類約1000本、単価約2,000円でまとめて製作したいと提案、全員異議なくこれを承認可決した。以上

加盟倶楽部殿

昭和57年12月28日

関東ゴルフ連盟

理事長 高田市太郎

昭和57年度第3回緊急臨時常務理事会議事録

昭和57年度第3回緊急臨時常務理事会の討議事項を下記の通りお知らせします。

日 時 昭和57年12月28日㈮正午

場 所 JGA会議室

出席者 高田理事長、西野、中川、細川各副理事長、相山、安藤、天野、藤原、福田彰、福田富市、金丸、河西、勝山、木村、木場、古賀、古茶、小宮山、松浦、松野、村田、長沢、斎藤、鈴木、武内、田村各常務理事

討 議 事 項

1. 再度、次期KGA理事長の件

高田理事長より「前回の17日に開催しました緊急臨時常務理事会で今期を限り理事長を退任したい旨、申し上げましたが、皆さんの懇切な慰留のお言葉を受けて結論を1月の常務理事会に伸ばしましたが、私の決意には変りはございませんので、このまま持越すのは失礼にもなり、再度、私の退任したいという意志をはっきりご説明し、次期理事長の選任をお願いいために年末のお忙がしい中をお集まり頼ったわけです」とあいさつがあり、討議に入る。前回同様2~3の常務理事より強い慰留の意見も出たが、高田理事長よりそれでは前回の繰返しに過ぎなくなるので一步前進した次期体制をどうしたらよいかを審議してほしいという強い要望もあり、具体的な選考方法の討議に移り、種々検討した結果、理事長選考委員会を結成して人選を行ない、その結果を1月の常務理事会にはかることとし、選考委員は理事長に指名一任され、高田理事長は理事長、副理事長を除く全常務理事を選考委員に指名した。

2. JGA会則変更の件

高田理事長より、JGA会則変更の件は前回の常務理事会でJGAの理事会で承認して来たものをKGAで討議するのはどんなものか…との発言で細部の討議をできなかったが、専任理事の件は一応賛成していることなので良いとしても、問題は第27条の変更で、今まで全員一致でなければ決することができなかった議事を、多数決制に変更する点だ。改正の説明に民主主義制度下では多数決原理に従うのが合理的といっているが、民主主義の中にも拒否権はある、現在の国連も安保理事会における拒否権の下に運営されているのである、ここで多数決制に変更することは事によって連盟に影響することも非常に大きなものになることも考えられるので、改めて慎重に審議願いたいと提案した。

これに対して関東ゴルフ連盟の加盟クラブ数は331クラブでJGAの全加盟クラブ数の32パーセントを占めているばかりでなく、年会費の分担でも最大であり、これだけ大きな地区連盟には拒否権という歯止めが必要であること、また例えば、地区連盟の総会で否決されたことを、JGAの多数決で押し切られるケースも起り得ることになるのであり、その場合には連盟の立場はなくなるわけで、ただ単なる8人の会議の多数決とは訳が違い、8人がそれぞれの地区連盟を代表している立場であれば、安易に多数決制を探るべきではない…との意見が強く出され、結局、JGA会則27条の変更に関しては、拒否権を含めたものでなくては認められないとの意見に一致し、これをJGA会長に申し入れることを決めた。

3. その他

娯楽施設利用税の件

福田富市税対策委員長より、娯楽施設利用税は昭和58年度より200円値上げされる予定だったところ、われわれの運動でこれを100円の値上げにおさえることができた旨、報告があった。以上

理事会・総会

加盟俱楽部殿

昭和58年1月18日
関東ゴルフ連盟
理事長 高田市太郎

57年度第8回常務理事会議事録

57年度第8回常務理事会議事録を下記の通りお知らせします。

日 時 昭和58年1月18日(火)午後3時10分

場 所 JGA会議室

出席者 高田理事長、西野、中川、細川各副理事長、相山、安藤、天野、藤原、福田彰、福田富市、金丸、河西、勝又、勝山、木村、木場、古賀、古茶、小宮山、松浦、松野、村田、長沢、齊藤、鈴木、関本、武内、田村、横内各常務理事

決 議 事 項

1. 第35回通常総会に関する件

① 総会開催日決定の件

2月15日(火)午前10時30分、パレスホテルのチャーリールームにて開催することを決定。

② 総会審議事項決定の件

会員総会提出議案を次の通り決定した。

第1号議案 昭和57年度事業報告、並びに決算の承認を求むる件

第2号議案 昭和58年度予算案の承認を求むる件

第3号議案 昭和58年2月22日開催の日本ゴルフ協会第34期通常総会に上程される昭和57年度決算の承認を求むる件、及び昭和58年度予算案の承認を求むる件に対し、賛否決定の件

第4号議案 執行部役員全員任期満了につき改選の件

第5号議案 第34期日本ゴルフ協会通常総会に出

第35回 通 常 総 会

2月15日(火)午前10時30分より、東京都千代田区丸ノ内1-1 パレスホテルにおいて開催された表記通常総会は、加盟クラブ331、出席は委任状とも215クラブで、下記の通り議決されましたのでご報告申し上げます。

加盟俱楽部御中

昭和58年2月15日
関東ゴルフ連盟
理事長 細川護貞

席する関東ゴルフ連盟代表者指名の件
第6号議案 昭和58年度、同59年度を任期とする日本ゴルフ協会理事7名、監事1名推薦に関する件

なお、この総会に提出する昭和57年度決算、オープン特別会計決算、及び昭和58年度予算案については原案通り承認した。

2. 冬季ジュニア・ゴルフ教室報告の件

松野ジュニア委員長より、1月4日から6日までの3日間、茨城のセントラル・ゴルフ・クラブで開催した冬季ジュニア・ゴルフ教室について、当初120人を募集したところ、申込みが殺到したため、申込み受付枠を150人まで広げてなおかつ申込者があふれ、受講を断わった者が相当出たほど人気があったこと、教室自体は3回目の開催になるため、指導員、ジュニアとともに教室の空気に馴れ、実際にスムーズに行なわれて何のトラブルもなかった旨の報告があり、なお4月3日から5日までの3日間、同じくセントラルにおいて春季ジュニア・ゴルフ教室を開催する予定なのでご了解願いたいとあいさつ、全員異議なくこれを了承した。

3. グリーン研究講習会の件

木村グリーン委員長より、春のグリーン研究講習会を4月6日茨城の農林年金会館で開催することになっており、今回は午前10時より午後5時までゴルフ場のグリーンはどうしたらよいかについて講習するので、出来るだけ多くの方々に聴講願いたいと要望、全員これも異議なく承認した。

4. 退会クラブの件

事務局より、戸田カントリークラブより荒川河川敷の土手改修工事により昨年の11月1日にクラブを解散したとの届出が提出された旨、報告があり、57年度末日をもって退会を承認することを決めた。以上

理事長高田市太郎議長となり、本総会は規約に照し法令に成立した旨を宣し、直ちに議案審議に入る。

第1号議案 昭和57年度事業報告、並びに決算の承認を求むる件

渡辺、三嶋両監事より、常務理事会より提出された議案内容について諸帳簿、関係書類について精査したところ、何れも適法かつ正確であることを認めた旨、監査報告があり、統いて議長より概略の説明が行なわれ、

理事会・総会

のあと、第5号議案以降の審議に入る。

第5号議案 第34期日本ゴルフ協会通常総会に出席する

関東ゴルフ連盟代表者指名の件

細川理事長を代表出席者とする事を可決確定。

第6号議案 昭和58年度、同59年度を任期とする日本ゴルフ協会理事7名、監事1名推薦に関する件議長に指名一任の方法が採択され、議長は次の通り指名した。

(1)連盟推薦理事候補者

細川護貞、鈴木太郎、長沢泰治

以上重任

加盟俱楽部殿

昭和58年2月15日

関東ゴルフ連盟

理事長 細川護貞

58年度第1回理事会議事録

58年度第1回理事会議事録を下記の通りお知らせします。

日 時 昭和58年2月15日(火)12時30分

場 所 パレスホテル

出席者 細川理事長、鈴木、武内両副理事長、齊藤、佐久、藤原、青木、大槻、古茶、福田彰、勝山、宮本、竹井、長沢、佐藤、滝沢、古賀、金丸、村田、山崎、森井、松浦、勝又、小宮山、内田、木場、中川、相山、小林金太郎、高田、西野、木村、関本、北村、福田富市各理事

決 議 事 項

1. 常務理事互選の件

常務理事の互選を実施、次の15名を決定した。

齊藤文志郎(ウォレスト)藤原正男(諷訪湖)大槻光雄(都留)古茶一之(草津)福田彰(ルーデンス)長沢泰治(関東国際)佐藤和三郎(宇都宮)古賀始(茨城)松浦均(習志野)小宮山義隆(総武)相山武夫(横浜)中川岩太郎(小金井)木村襄司(東名)福田富市(浜松シーサイド)松野京三(扶桑)

2. 58年度分科委員長委嘱の件

各分科委員会の委員長を次の通り選任した。

競 技 委 員 会 福田 彰

ハンディキャップ委員会 武内俊三

月 例 競 技 委 員 会 福田 彰

税 対 策 委 員 会 福田富市

グ リ ー ン 委 員 会 木村襄司

広 報 委 員 会 武内俊三

武内俊三、木村謙司、勝又豊次郎

以上新任

(2)学識経験理事候補者

福田 彰

重任

(3)連盟推薦監事候補者

岩本 勇

新任

以上をもって全議事の審議を終了、午前11時25分議長は閉会を宣した。

以上

ジ ュ ニ ア 委 員 会 松野京三

3. 通常任務担当役員(総務、財務)指名の件

通常任務担当役員を次の通り選任した。

総務 武内副理事長

財務 鈴木副理事長

4. 新規入会クラブの件。

下記クラブの加盟を承認。これで連盟加盟クラブ総数は332クラブとなった。

成田スプリングスカントリー俱楽部

5. その他

①学識経験者推薦理事の件。

本日の総会において学識経験理事5名については、理事長に指名一任を取りつけたが、本来なら総会の場で発表すべきものであり、出来ればこの席で決定してもらいたいとの意見が出され、選考の結果下記3名については満場一致で承認、残り2名については次回理事会にはかることを決めた。

学識経験理事 渡辺五郎(程ヶ谷)

渡辺 実(相模)

松野京三(扶桑)

②連盟顧問推薦の件

本年度の役員改選で選任された常務理事の中で、長年、関東ゴルフ連盟に功績のあった方を顧問に推薦してはいかがとの意見が出され、満場一致で下記3名に顧問を嘱託することを決めた。

顧問 天野健雄(嵐山)

横内近雄(高坂)

安藤信六(富士山)

次回理事会 3月7日(月)正午 パレスホテル

以上

関東アマチュア選手権競技実施規定

- ◎予選**
期日 昭和58年5月9日(第1、2、5ブロック)
10日(第3ブロック) 11日(第4ブロック)
- 開催場所** 第1ブロック 多摩カントリークラブ
第2ブロック 幸塙富士見カントリークラブ
第3ブロック 岡部チサンカントリークラブ(美里)
第4ブロック 南総カントリークラブ
第5ブロック 江戸崎カントリー俱乐部
- 1.競技規則** 日本ゴルフ協会ゴルフ規則、および本競技特別規則
- 2.競技の条件** 18ホール・ストローク・プレーを行い、各ブロック上位20位タイまでが5月26日から4日間、茨城ゴルフ俱楽部で開催する決勝競技出場資格を得る。但し、各ブロック予選通過者数は参加者の数によって変更がある。
- 3.参加資格** (1)月例競技総合得点40位まで(57年5月~58年3月)を除き、JGAハンディキャップ9までのアマチュア(但し未実施クラブは下記計算により8まで)
(2)57年度関東ジュニア選手権2~10位
(3)57年度東日本パブリックアマ2~10位
(4)KGA後援、千葉、茨城、群馬、静岡、神奈川、埼玉各県アマチュア選手権5位までの者
(5)KGA後援、千葉、茨城、群馬、長野、神奈川、新潟各县オープンのアマチュア5位までの者
(6)関東ゴルフ連盟推薦のアマチュア

- 4.賞** メダリスト賞
5.参加料 予選、決勝を通じ 20,000円
参加料はクラブで取りまとめて三和銀行東京営業部関東ゴルフ連盟普通預金口座No380に振込のこと。
注 締切以後は出場を取消しても参加料は返金しない。
- 6.申込み方法** (1)参加希望者は所属クラブに参加料を添えて申込むこと。
(2)連盟加盟クラブ以外の参加者は直接連盟に申込むこと。
- 7.申込み期日** 昭和58年4月12日(火)
締切以後は理由の如何を問わず受けない。
- 8.指定練習日** 指定練習日は各ブロック2回指定日を定め、うちいずれか希望日1回は会員並み扱い、1回は一般ビギナー扱いとし、希望日を開催クラブに届け出のこと。ビギナー扱い日利用の場合、クラブ側にスタートを予約することが必要だが、出場選手は会員の紹介を必要としない。

関東女子ゴルフ選手権競技実施規定

- ◎予選**
期日 昭和58年5月16日(第1、2ブロック予選)
第1ブロック 中津川カントリークラブ
厚木市中荻野字細谷1941
TEL. 0462(41)2121
第2ブロック 柏ゴルフ俱楽部 柏市若柴228
TEL. 0471(31)3121
- 1.競技規則** 日本ゴルフ協会ゴルフ規則、および本競技特別規則を適用する。
- 2.競技の条件** 18ホール・ストローク・プレーを行い、各ブロック上位60位までが6月1日から2日間、那須ゴルフ俱楽部で開催する決勝競技出場資格を得る。但し、各ブロック予選通過者数は参加者の数によって変

(参考)

参加資格のハンディキャップについてはJGAハンディキャップ規定未実施クラブは所定のハンディキャップ査定申請書により、1年以内のベストカード10枚を提出、出場資格の査定を受けねばならない。

◎決勝

期日 昭和58年5月26日、27日、28日、29日
場所 茨城ゴルフ俱楽部(東コース)
茨城県筑波郡伊奈村小島新田

1.競技規則 日本ゴルフ協会ゴルフ規則、および本競技特別規則を適用する。

2.プレーの条件 5月26日(木) 第1ラウンド 18ホール・ストローク・プレー
5月27日(金) 第2ラウンド 18ホール・ストローク・プレー
以上、前半36ホールの90位までが後半2ラウンドに進出。

5月28日(土) 第3ラウンド 18ホール・ストローク・プレー
5月29日(日) 第4ラウンド 18ホール・ストローク・プレー

3.タイの決定 72ホールを終り、第1位がタイの場合は、委員の指定するホールに於てサドン・デス方式のプレー・オフにより第1位を決定する。

4.参加資格 (1)月例競技(57年5月より58年3月まで)の総合得点40位までの者

(2)前年度関東アマチュア選手権5位までの者

(i) 関東オープン・アマチュア5位までの者

(ii) 東日本パブリックアマ選手権1位(関東在住)

(iii) 世界アマ日本代表(関東在住)

(iv) 関東ジュニア選手権1位

(5)本年度関東アマチュア選手権各ブロック予選通過者

(6)連盟理事会で特別承認した者

5.賞 優勝者 レブリカ 4、5位 菊皿

2、3位 メダル 全員 予選通過記念品

6.参加料 20,000円(但し、決勝シードのみ)

注 締切以後の参加取消しの場合は参加料は返金しない。

7.参加申込 参加希望者は所属クラブに参加料を添えて申し込むこと。申し込みを受けたクラブは所定の申込書に参加料を添えて連盟に申し込むこと。

参加料は「三和銀行東京営業部関東ゴルフ連盟普通預金口座No380」へ振込のこと。

8.申込締切日 昭和58年5月12日(木)

締切日以後は理由の如何を問わず受けない。

9.指定練習日 5月24日(火)、25日(水)

7.申込み期日

昭和58年4月20日(水)
締切以後は理由の如何を問わず受けない。

8.指定練習日 第1ブロック 5月11日(木)、12日(金)及び13日(土)
第2ブロック 5月12日(木)、及び13日(日)
以上のうち1人2日間を会員並み扱いとする。

何れの場合も予めスタート時間を予約すること。

注…JGAハンディキャップを持っていない方は、所定の申請書に1年以内のベストカード10枚を提出して出場資格を取得して下さい。

◎決勝

期日 昭和58年6月1日(木)、2日(金)

場所 那須ゴルフ俱楽部
那須郡那須町大字湯本212 TEL. 02877(6)3100

1.競技規則 日本ゴルフ協会ゴルフ規則、および本競技特別規則を適用する。

2.プレーの条件 6月1日(木) 第1ラウンド
18ホール・ストローク・プレー
6月2日(金) 第2ラウンド
18ホール・ストローク・プレー

3.タイの決定 36ホールを終り、第1位がタイの場合は、委員の指定するホールに於てサドン・デス方式のプレー・オフにより第1位を決定する。

オフにより第1位を決定する。

4.参加資格

(1)予選通過者(各ブロック60位)
(2)関東女子前年度10位
(3)月例総合成績10位(57年10月~58年4月)
(4)前年度世界アマ代表(関東在住者)
優勝者 KGA(レブリカ)

2位~5位 金製プローチ

全員 予選通過記念品

5.賞 20,000円(但し、決勝シード選手のみ)

注 締切以後の参加取消しの場合は参加料を返金しない。
参加希望者は所属クラブに参加料を添えて申込むこと。申し込みを受けたクラブは所定の申込書に参加料を添えて連盟に申し込むこと。

参加料は「三和銀行東京営業部関東ゴルフ連盟普通預金口座No380」へ振込のこと。
8.申込締切日 昭和58年5月17日(火)

締切以後は理由の如何を問わず受けない。

9.指定練習日 5月27日(木)
但し31日は午前中スタートのみ。1人2日間を会員並み扱いとする。
何れの場合も予めスタート時間を予約すること。

関東俱楽部対抗競技実施要項

1.昭和58年度参加希望チームが多数のため、予選を実施する。

(1)予選は都府県別を主体として10ブロックに分けて実施し、規定のチーム数に達しない県のクラブは適宜他のブロックに配分する。

(2)新規参加希望チームが出た場合は、当該都、県ブロックに配分する。

(3)決勝開催クラブは予選競技に出場することはできない。但し予選通過ブロック出場チーム数に加える。

2.予選競技方法

(1)競技方法 18ホール・ストローク・プレー

(2)チーム構成 Aクラス 満50才以上(競技当日)4名
Bクラス 年令制限なし 4名計8名出場

但し、選手は学生、未成年者を除く正会員に限る。

(3)順位決定 A B両クラスを通じ、ペスト7名のスコア総計によって決める。

タイ・スコアのときの決定方法
(i)スコア統計がタイのときは8人目のスコアによって決める。

(ii)なおタイのときはチームの個人ベスト・スコアの良い方を上位とし、それもタイのときは以下順次チームのベスト・スコアを比較して決めること。

(4)予選通過 ブロック出場チーム数が9チームまでは第1位のみ
14チームまでは第2位まで
19チームまでは第3位まで

24チームまでは第4位まで
25チーム以上は第5位まで

注但し、参加クラブ数により上記規準を変更することがある。
参加チーム数の少ない地区は近隣地区に割当てる。

3.出場選手要員

(1)選手登録 Aクラス4名以上、Bクラス4名以上を所定の登録選手名簿で登録ください。(但し、登録選手は他クラブまたは他地区連盟加盟クラブ選手として登録することはできない。)

(2)登録締切日 昭和58年3月31日(木)

(3)登録期間 1ヵ年とする。

4.参加申込

(1)チームの編成 登録選手の中よりAクラス4名、Bクラス4名を正選手として編成。

(2)選手の変更 8名に満たなかった場合は、登録選手から補充、登録選手で満たないときは登録外からも補充できる。

(3)申込締切日 昭和58年5月10日(火)

(4)参加料の払込 予選、決勝を通じ1チーム15万円、参加申込みと同時に「三和銀行東京営業部関東ゴルフ連盟普通預金口座No380」へ振込のこと。

5.予選競技主会議 5月18日(木) 午後3時 パレスホテル ゴールデンルーム

6.予選競技開催期日 6月6日(木) 桜ヶ丘
6月13日(木) 東松山、鶴舞、上毛森林、望月、愛鷹、小田原湯本
6月14日(火) 靖岡、鹿沼

7.決勝競技方法

(1)競技方法 18ホール・ストローク・プレー

(2)チーム構成 予選規定による。

8.順位決定

8. 決勝進出チーム選手登録期日 6月16日(木)

9. 決勝進出チーム主会議 6月17日(金) 正午 パレスホテル シルバールーム

10. 決勝競技開催期日 7月4日(火)

11. 決勝競技開催コース 霞ヶ関カンツリー倶楽部

12.表彰

(1)各ブロック予選第1位チーム
およびA、B両クラス個人最優秀選手

(2)決勝は優勝、準優勝
およびA、B両クラス個人最優秀選手

13.主会議の協議事項

(1)ローカル・ルールの決定 (2)指定練習日の決定

(3)組合せとスタート時刻の決定 (4)その他

3.参加資格

更ことがある。
(1)加盟俱楽部各種女子会員でJGAハンディキャップ20まで(但し未実施クラブは下記計算により18まで)

(2)関東学生ゴルフ連盟推薦の若干名

(3)KGA特別承認者

4.賞 メダリスト賞

5.参加料 予選、決勝を通じ 20,000円

参加料はクラブで取りまとめて三和銀行東京営業部関東ゴルフ連盟普通預金口座No380に振込のこと。

(注)締切以後の参加取消の場合は、参加料を返金しない。

6.申込み方法 (1)参加希望者は所属クラブに参加料を添えて申込むこと。

(2)連盟加盟クラブ以外の参加者は直接連盟に申込むこと。

月例競技成績表 (昭和57年10月～58年2月)

(10月例)出場 男子80名・女子29名 10月15日(金) 於：武藏カントリークラブ(笹井コース)

(男子)

氏名	クラブ	アウト	イン	合計	順位
小川透	岡部チサン	33	35	68	1
内藤正幸	富士平原	34	35	69	2
上代修二	中山	36	34	70	3
田辺嘉一	飯能	36	34	70	3
能川茂美	戸塚	34	37	71	5
和田博	五日市	37	34	71	5
(以上入賞)					
浅川辰彦	武藏	32	40	72	7
大山四郎	鎌ヶ谷	38	34	72	7
鹿島威二	立川国際	35	37	72	7
鶴田憲人	青梅	38	34	72	7
杉成豊	川越	36	36	72	7
中野弘治	美若	38	34	72	7
岡田光正	嵐山	37	36	73	13
岡田一児	姉ヶ崎	37	36	73	13
田中泰二郎	下野	36	37	73	13
前場敏信	鹿沼	38	35	73	13
飯塚武千	葉	36	38	74	17

コースレート 71.0
(注) 尾間久江、高橋良江、佐々木詩子、渡辺恵子氏はタイスコアの為、11月例にてプレー・オフを行います。

(11月例)出場 男子94名 11月19日(金) 於：蘿之台カントリー倶楽部

氏名	クラブ	アウト	イン	合計	順位
伊藤和久	新千葉	36	35	71	1
松井満	月	35	37	72	2
大出正義	新千葉	34	39	73	3
大山四郎	鎌ヶ谷	35	38	73	3
大沢正春	蘿之台	38	36	74	5
河野安男	戸崎	39	35	74	5
北村昭夫	東京国際	39	35	74	5
能川茂美	戸塚	36	38	74	5
針谷高之	アシア下館	37	37	74	5
船野賢明	那須小川	37	37	74	5
(以上入賞)					
植山鉄次郎	袖ヶ浦	36	39	75	11
岡田光正	嵐山	38	37	75	11
小川透	岡部チサン	36	39	75	11
柿原恒	府中	37	38	75	11
志村幹夫	日立	39	36	75	11

コースレート 73.4

出場 女子33名 11月30日(火) 於：越生ゴルフクラブ

氏名	クラブ	アウト	イン	合計	順位
湯原光葉	鳥山城	38	39	77	1
矢島智都子	南箱根	39	39	78	2

コースレート 67.8

(注) 11月例プレー・オフの尾間久江、高橋良江、佐々木詩子、渡辺恵子氏は尾間久江氏が優勝しました。

(12月例)出場 男子83名・女子31名 12月10日(金) 於：袖ヶ浦カントリークラブ(袖ヶ浦コース)

(男子)

氏名	クラブ	アウト	イン	合計	順位
金沢俊彦	鹿沼	38	34	72	1
河野安男	戸崎	36	36	72	1
佐久間徹二	袖ヶ浦	37	35	72	1
内山健司	青梅	39	34	73	4
植山鉄次郎	袖ヶ浦	37	37	74	5
小川透	岡部チサン	37	37	74	5

月例競技成績表 (昭和57年10月～58年2月)

(男子)

氏名	クラブ	アウト	イン	合計	順位
間野一男	鶴舞	38	37	75	10
水沢純一	袖ヶ浦	35	40	75	10
宮辰夫	習志野	37	38	75	10
阪哲男	袖ヶ浦	39	37	76	15
高橋俊三	鶴舞	39	37	76	15
高橋浩	嵐山	39	37	76	15
中島篤人	矢板	40	36	76	15
中島和也	板	39	37	76	15
中島水	千葉	38	39	77	20
杉田勢	GMG八王子	37	40	77	20
野本俊夫	袖ヶ浦	38	39	77	20
宮里佑文	飯坂	39	38	77	20
伊藤和久	新千葉	41	37	78	24
大沢正春	鷺之台	41	37	78	24
大出正義	千葉	42	36	78	24
大山四郎	鎌ヶ谷	43	35	78	24

(男子)

氏名	クラブ	アウト	イン	合計	順位
杉田成農	川越	40	38	78	24
内藤正幸	富士平原	38	40	78	24
中村正利	東京国際	36	42	78	24
能川茂美	戸塚	39	39	78	24
前川武英	成田ハイツリー	39	39	78	24
安間章浩	東京湾	37	41	78	24

コースレート 71.3

(注)金沢健彦、河野安男、佐久間徹二氏はタイスコアの為、58年1月例にてプレー・オフを行います。

(女子)

氏名	クラブ	アウト	イン	合計	順位
中島恵利華	矢板	39	38	77	1
尾間久江	武藏	42	39	81	2
(以上入賞)					
矢島智都子	南箱根	41	42	83	3
鈴木エツ	大塚野	43	41	84	4
福井美保	GMG八王子	42	42	84	4

コースレート 69.0

(1月例)出場 男子97名・女子41名 1月28日(金) 於：程ヶ谷カントリー倶楽部

(男子)

氏名	クラブ	アウト	イン	合計	順位
河野安男	江戸崎	35	36	71	1
針谷高之	アジア下館	36	35	71	1
宮辰夫	習志野	35	38	73	3
森茂則	セントラル	37	36	73	3
森永正隆	武藏	38	35	73	3
(以上入賞)					
伊藤和久	千葉	37	37	74	6
柴田良三	東京よみうり	35	39	74	6
中島篤志	矢板	38	36	74	6
大沢正春	蘿之台	36	39	75	9
上代修二	中山	37	38	75	9
志村幹夫	大洗浜	36	39	75	9
高原敬武	横濱ヶ丘	37	38	75	9
内藤正幸	武藏	35	40	75	9
森永正隆	武藏	40	37	77	24
浅川辰彦	武藏	40	37	77	24
飯塚武千	武藏	40	37	77	24
杉田勢	GMG八王子	39	38	77	24
杉田成豊	川越	38	39	77	24
高安信行	セントラル	38	39	77	24
初見為治	大利根	37	40	77	24
前場敏信	鹿沼	39	38	77	24
柿澤淳二	専大	41	36	77	24

(男子)

氏名	クラブ	アウト	イン	合計	順位
鹿島威二	立川国際	37	39	76	16
佐久間徹二	袖ヶ浦	37	39	76	16
高木信行	烏山城	39	37	76	16
高橋俊一	扶桑	38	38	76	16
武田旦	東名厚木	37	39	76	16
中野弘治	美若	37	39	76	16
堀越栄治郎	相模原	39	37	76	16
森田直樹	GMG八王子	38	38	76	16

コースレート 71.4

(注)12月例プレー・オフの金沢俊彦、河野安男、佐久間徹二氏は河野安男氏が優勝しました。

(女子)

氏名	クラブ	アウト	イン	合計	順位
渡辺恵子	高根	41	36	77	1
高橋良江	東京国際	40	41	81	2
長谷川睦子	立川国際	38	43	81	2
矢島智都子	南箱根	42	39	81	2
(以上入賞)					
中島恵利華	矢板	42	40	82	5
福井美保	GMG八王子	43	39	82	5

コースレート 69.3

(2月例)出場 男子90名・女子32名 2月22日(火) 於：戸塚カントリー倶楽部(西コース)

(男子)

氏名	クラブ	アウト	イン	合計	順位
中島和也	矢板	35	35	70	1
中村正利	東京国際	35	36	71	2
小川透	岡部チサン	35	38	73	3
船野明	那須小川	35	38	73	4
鹿屋一郎	セントラル	38	38	76	5
内藤正幸	桜ヶ丘	37	39	76	5
針谷高之	アジア下館	38	38	76	5
堀越栄治郎	相模原	38	38	76	5
(以上入賞)					
石田弘行	中山	39	38	77	9
岸本茂	セントラル	35	42	77	9
小出一郎	姫ヶ崎	40	37	77	9
須藤盛雄	太陽	40	37	77	9
高木信行	烏山城	39	38	77	9
中島篤志	矢板	40	37	77	9
中野弘治	恵美	38	39	77	9
和田博	五日市	40	37	77	9
五十嵐唯郎	五日市	39	39	78	17
杉田成豊	川越	40	38	78	17
得能三郎	木柄	41	37	78	17

コースレート 71.5

(注)1月例プレー・オフの河野安男、針谷高之氏は針谷高之氏が優勝しました。

(女子)

氏名	クラブ	アウト</